

自然環境整備計画(国立公園整備事業)  
【平成30年度～令和4年度】

みやぎけん  
宮城県

平成29年12月

変更 平成30年12月

変更 令和元年12月

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	宮城県		個別地域	三陸復興国立公園(気仙沼市)		
計画期間	平成	30 年度	～	令和	4 年度	

<p><b>目標</b></p> <p>目標1 老朽化した遊歩道を再整備することにより、公園利用者の安全性・利便性を向上させる。</p>
--

<p><b>個別地域の現状</b></p> <p>個別地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、平成25年5月に創設された国立公園である。</li> <li>・南北の延長は約250km、北部は「海のアルプス」とも称される豪壮な大断崖、南部は入り組んだ地形が優美なリアス海岸が続いている。</li> <li>・海岸にはウミネコやオオミズナギドリなどの海鳥の繁殖地があり、また、海岸独特の環境に適応した多様な海岸植物が生育しているため、野生生物を間近に観察することもできる。浅海域にはアマモ場や海草藻場が形成され、海洋の生物多様性を支える場にもなっている。</li> <li>・気仙沼大島は、本公園の南部地域に位置し、気仙沼湾に浮かぶ東北地方最大の有人島であり、休暇村を中心とする野外リクリエーションの利用拠点として、園地や野営場等を整備する集団施設地区が指定されている。また、小田ノ浜龍舞崎線についても、気仙沼大島東岸の海岸景観を探勝する歩道として指定されている。</li> <li>・現在、大島への観光客は震災前の45%と低い状況にあるが、今後、大島架橋の完成により観光客の増大が見込まれているところで、地元から観光客受入の基盤整備として公園施設の整備が求められている。</li> <li>・気仙沼唐桑は、本公園の南部地域に位置する半島であり、ビジターセンターを中心とする野外リクリエーションの利用拠点として、園地や野営場等を整備する集団施設地区が指定されている。また、御崎巨釜半造線についても気仙沼南岸の海岸景観を探勝する歩道として指定され、平成30年度に宮城オルレのコースに指定されたことから観光客の増加が見込まれる。</li> <li>・今後は海外からの観光客増も見込まれるため、破損している遊歩道を修繕し、観光客受入の基盤整備として公園施設の整備が求められている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光客(公園利用者)の増加 大島架橋の完成により離島への往来がし易くなり公園利用者の増加が見込まれることから、利用者の安全性・利便性の向上が求められている。 みちのく潮風トレイルのコース指定や、宮城オルレのコース開設により外国人観光客及び公園利用者の増加が見込まれることから、看板のインバウンド対応や利用者の安全性・利便性の向上が求められている。</li> <li>○ 施設の老朽化 歩道は設置後20年近く経過した木造施設が大半で、さらに海岸線に面した歩道については、波浪による影響もあり、老朽化が著しく、利用に支障をきたしている。また、トイレやレストハウス、四阿等も老朽化が進んでいることから再整備が必要である。</li> <li>○ 倒木による施設の破損 近年、松食い虫の被害により、倒木が多発し、施設が破損している。</li> <li>○ 島内には亀山、龍舞崎等の観光名所があるため、大島架橋開通により増加した、レンタカー等を利用した外国人観光客等を受け入れるための新たな駐車場の整備が必要。</li> </ul>
--

<p><b>個別地域の整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化して危険な施設の再整備を行い、公園利用者の安全で快適な受入体制の向上を図る。</li> <li>・老朽化して危険な施設(遊歩道、トイレ、レストハウス、四阿等)の再整備を行う。</li> </ul>	<p><b>方針に沿った主要な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田ノ浜龍舞崎線歩道整備事業</li> <li>・御崎巨釜半造線歩道整備事業</li> <li>・亀山園地整備事業</li> </ul>
---	--

目標を定量化する指標									
指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値			
						基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
(小田ノ浜)歩道等の利用者数	人	歩道等の整備による利用者数	観光客入込数	公園利用者の利便性の向上に関する指標とし、利用者数により達成したものとす。	105千人	平成28年度	110千人	令和3年度	令和3年度
(御崎)歩道等の利用者数	人	歩道等の整備による利用者数	観光客入込数	公園利用者の利便性の向上に関する指標とし、利用者数により達成したものとす。	46千人	平成28年度	48千人	令和3年度	令和3年度
(亀山園)観光客入込み数	人	園地整備による利用者数	観光客入込数	公園利用者の利便性の向上に関する指標とし、利用者数により達成したものとす。	30千人	令和元年度	60千人	令和4年度	令和4年度

<p>その他必要な事項</p>
-----------------

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	宮城県	個別地域	三陸復興国立公園(石巻市)
-------	-----	------	---------------

計画期間	平成 31 年度 ~ 令和 2 年度
------	--------------------

**目標**  
 目標1 老朽化した遊歩道を再整備することにより、公園利用者の安全性・利便性を向上させる。

<p><b>個別地域の現状</b></p> <p>個別地域の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、平成25年5月に創設された国立公園である。</li> <li>・南北の延長は約220km、北部は「海のアルプス」とも称される豪壮な大断崖、南部は入り組んだ地形が優美なリアス海岸が続いている。</li> <li>・海岸にはウミネコやオオミズナギドリなどの海鳥の繁殖地があり、また、海岸の独特の環境に適応した多様な海岸植物が生育しているため、野生生物を間近に観察することもできる。浅海域にはアマモ場や海藻藻場が形成され、海洋の生物多様性を支える場にもなっている。</li> <li>・金華山島は全域が山であり、最高点は445m。平地はほとんどない。神社付近を除く大部分が国有地であり、三陸復興国立公園に指定され、手つかずの自然が多く残されている。</li> <li>・また、島全体が黄金山神社の神域となっており、地場の信仰の対象として有名である。恐山、出羽三山と並ぶ「奥州三霊場」に数えられ、参拝客を集めている。</li> <li>・本登山道は、金華山港(島西側)から金華山山頂(大海神社)をとおり、島東部海岸に至る13.8kmの道で、天柱石や千畳敷、灯台島の景勝地があり、自然の雄大さを感じることができる。</li> <li>・本事業は、山頂から島東部海岸までの1.3km区間において、落石・倒木等により段差工等の施設が被災しており、通行が困難となっていることから、再整備に向けた測量設計を実施するものである。</li> <li>・金華山が岩場の魅力と景観で、国内外のクライミング愛好家の人気を得ている。スポーツクライミングが2020年東京五輪の正式種目に決まり、競技への注目度もアップ。震災で落ち込んだ金華山観光の復興に向け、一筋の光明となっている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倒木による施設の破損                  近年、松食い虫の被害により、倒木が多発し、施設が破損している。</li> </ul>
---

<p><b>個別地域の整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化して危険な施設の再整備を行い、公園利用者の安全で快適な受入体制の向上を図る。</li> </ul>	<p><b>方針に沿った主要な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金華山島歩道整備事業</li> </ul>
--	---

指 標		単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
							基準年度	目標年度
歩道等の利用者数		人	歩道等の整備による利用者数	観光客入込数	公園利用者の利便性の向上に関する指標とし、利用者数により達成したものとする。	16千人	平成28年度	17千人 令和2年度

その他必要な事項

(国立公園整備事業)交付対象事業等一覧表(1) (金額の単位は千円)

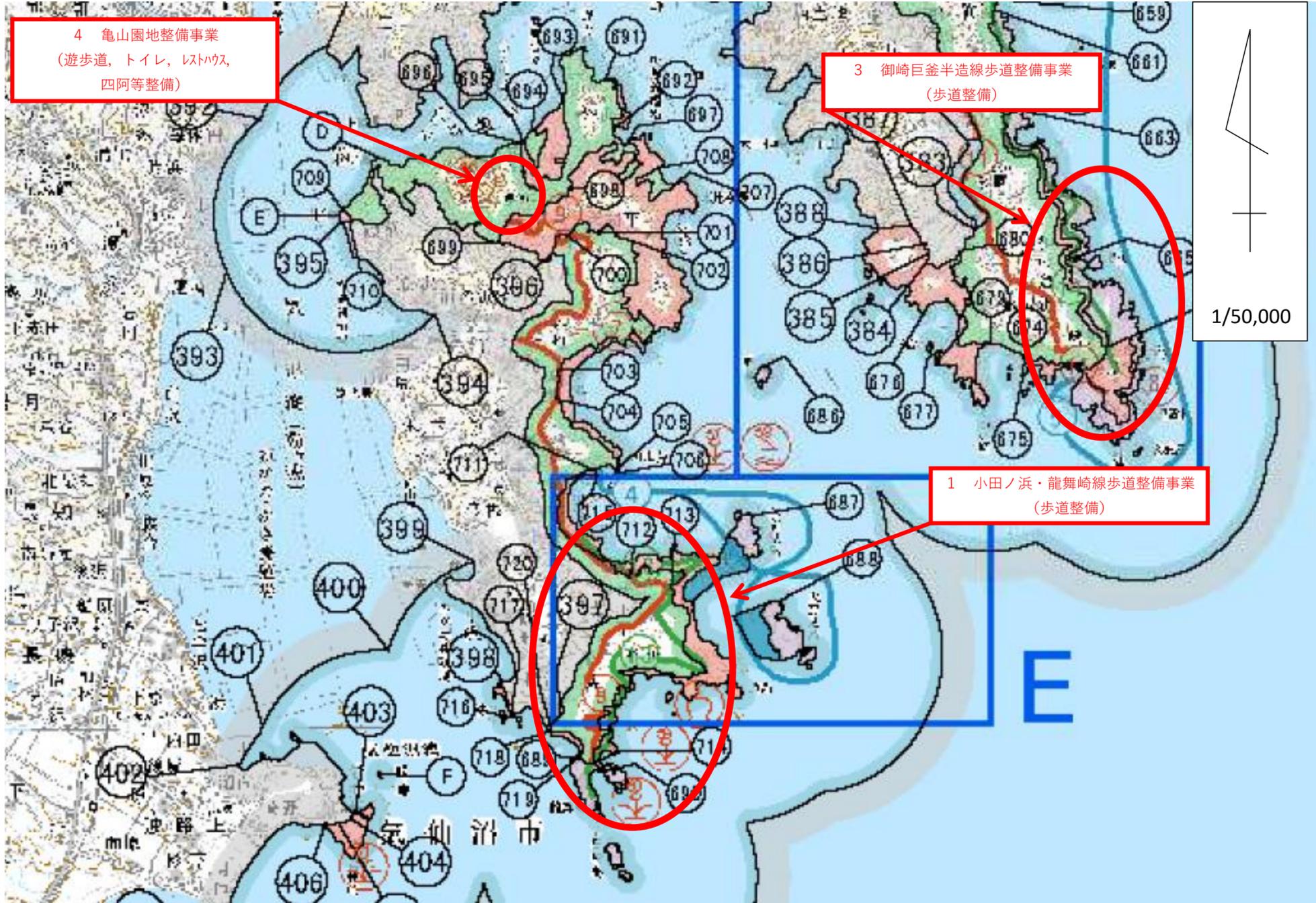
交付対象事業費		494,800		交付限度額		247,400									
番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(H30年度)	2年目(H31年度)	3年目(R2年度)	4年目(R3年度)	5年目(R4年度)
1	三陸復興国立公園	小田ノ浜龍舞崎線歩道整備事業	けせんぬまし 気仙沼市	宮城県	95,500	H30	R3	95,500	47,750	0	13,500	31,000	21,000	30,000	
2	三陸復興国立公園	金華山島歩道整備事業	いしのまきし 石巻市	宮城県	58,300	H31	R2	58,300	29,150	0		15,300	43,000		
3	三陸復興国立公園	御崎巨釜半造線歩道整備事業	けせんぬまし 気仙沼市	宮城県	91,000	H31	R3	91,000	45,500	0		29,800	31,000	30,200	
新規4	三陸復興国立公園	亀山園地整備事業	けせんぬまし 気仙沼市	気仙沼市	250,000	R2	R4	250,000	0	125,000			100,000	100,000	50,000
合計					494,800			494,800	122,400	125,000	13,500	76,100	195,000	160,200	50,000



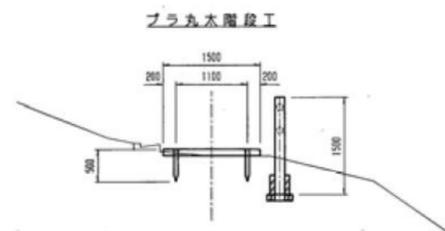
(参考)自然環境整備計画(国立公園整備事業)(宮城県)の概要図

個別地域	三陸復興国立公園	所在地	けせんぬまし 気仙沼市
------	----------	-----	----------------

※ 個別地域の図面を添付すること。



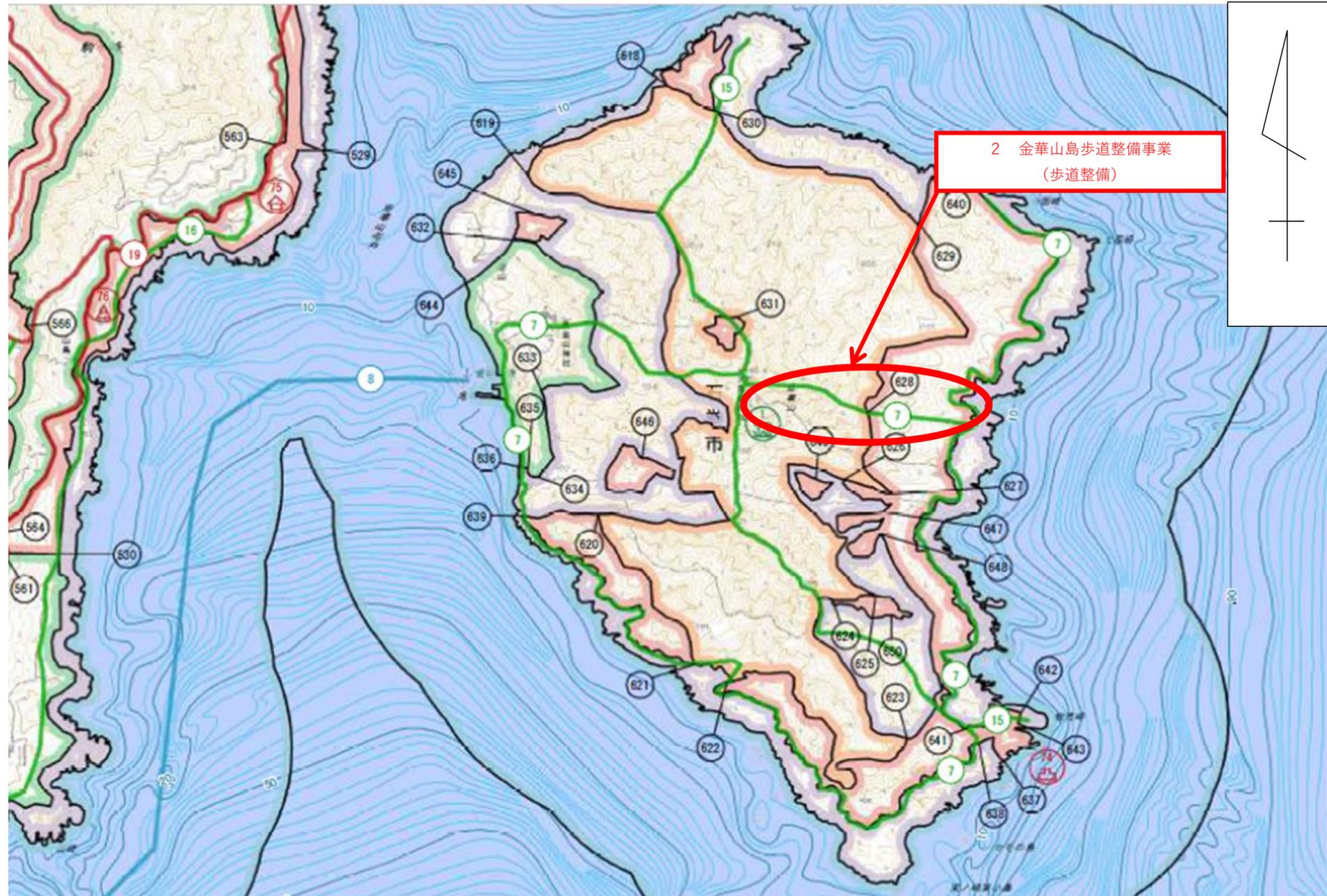
標準断面図



(参考)自然環境整備計画(国立公園整備事業)(宮城県)の概要図

個別地域	三陸復興国立公園	所在地	いしのまき市 石巻市
------	----------	-----	---------------

※ 個別地域の図面を添付すること。



標準断面図

